

相談室の窓から

学生相談室
相談員
文学部教授
伊藤 氏貴

頼りなき教員相談員の弁明

高校の教師をしていた頃は、生徒からの相談はそれぞれ日常茶飯事で、何もない日は逆にどこか問題があるのではと疑心暗鬼になるほどだった。

しかし教師と毎日顔を合わせている高校までと異なり、大学に入った途端、学生は先生を疎遠に感じるだろう。教員の側からしても、基本的に週に1回の授業でしか会わない学生たちの個人的な相談には乗りづらい。

そのギャップを埋めるべく、各キャンパスに設けられている学生相談室には、教員ばかりでなく、カウンセラーや精神科医、弁護士など専門家が待機している。ただ、この中で、教員ばかりは相談の専門家ではなく、はなはだ頼りなく見えるかもしれない。

教員相談員として私が受ける相談の中で多いものの一つは、大学に入って何をすればいいのか分からなくなってしまった、というものだ。明治大学が第一志望であったにせよ不本意入学であったにせよ、受験で燃え尽きてしまったのだろう。

これが高校生相手であれば、アドバイスも叱咤もできた。日頃の彼らを知っているからだ。

だが、初めて会う大学生に具体的な指針など与えようがない。基本的にはひたすら耳を傾けることで、彼ら自身が自分の内にあるモヤモヤを自力で言語化するのを促すばかりだ。それだけでも、問題はかなり解決に近づく。

さらに時間があれば、「10年後の自分はどこで何をしていると思う?」と尋ねることにしている。すぐに鮮明なイメージは浮かばないかもしれないが、実家にいるのか1人暮らしをしているのか、働いているとしたらどのような所で……という想像を少しずつ広げ、ある程度像が固まってきたら、そこから逆算して、その10年後のために今何かできることがないかを考え、あるいは10年後の自分から今の自分へのメッセージを考えてみるよう促す。自分以上に身近で親身になってくれるアドバイザーはいないからだ。

かように相談員として大学教員のできることは限られているが、だからこそ、学生が自立する助けにもなれるのではとも思う。まれにはあるが、進路ややりたいことが決まったと数年後にわざわざ報告に来てくれる学生がいる。彼らの頼もしく輝く顔を見るより喜ばしいことはない。

学生相談室について

- 駿河台キャンパス 大会館2階 TEL:03-3296-4217
- 生田キャンパス 中央校舎2階 TEL:044-934-7619
- 和泉キャンパス 第一校舎2階 TEL:03-5300-1178
- 中野キャンパス 低層棟4階 TEL:03-5343-8080

開室時間 月～金 10:00～17:00

- 学生相談室では、対面相談・オンライン相談(学生限定)・電話相談を行います。
- 相談は電話、または、Oh-o!Meiji アンケート「【学生相談室】相談申込フォーム」にてお申し込みください。
- 予約状況などから、面談が申込翌日以降になる場合もありますので、ご了承ください。
- 土曜日(9:00～12:00)に面談をご希望の場合は、事前にご相談ください。
- 夏季休業期間中、入試期間中など、開室時間を変更する場合がありますので、掲示、ホームページでご確認ください。

<https://www.meiji.ac.jp/soudan/>

